上丸子小 PTA 研修報告フォーマット

研修報告日	2022 年 7 月 18 日
研修タイトル	うさぎママのパトロール教室
研修の日時	2022 年 7 月 5 日
講師の氏名や所属先	うさぎママのパトロール教室主宰　安全インストラクター武田信彦
開催場所	中原区役所
Zoom 開催の有無	有
配布資料の有無	有
主な内容	【こどもの安全について】 ・子供だけになる時が最も狙われやすい。特にひとりの時が狙われやすいため、なるべくひとりにならない状況を作るのが大事。 ・道路、駐車場、公園、集合住宅の共用部では特にひとりになりやすい為注意が必要。 ・ひとりの時はまわりをよく見る、よく聞くを意識すると防犯、事故防止につながる。 ・声をかけられ、お願い事や頼みごとをされても『できません！』と一言でこたえるとよい。状況に合わせた断り文句では逃げ遅れたり、つけこまれる場合もある。『できません』の一言で断る気持ちは伝わる。 ・あいさつすることは大切ですが、相手がどんな人でも手が届かない距離をとると、さわられない、つかまれない為、防犯となる。また逃げる際も距離があるとつかまりにくくなる。 ・にげるは自分で決めてよいこと。こわい、いやだと感じたら、助けてくれる人のところまで逃げることが大切。日ごろの買い物や散歩のなかで助けてくれる人がどこにいるのか確認するとよい ・たすけてと伝える。危険からは逃げるが一番。逃げる際まわりに人がいるようであれば声と身体を使って『たすけて』を伝えると効果的。 逃げる、助けをよぶときには防犯ブザーも役立つ。 【市民防犯について】 警察による防犯は直接的防犯。市民防犯は間接的防犯であり、犯罪や非行と直接対峙するものではない。見守りや健全な声掛けにより犯罪が起きにくくなる。 【防犯ボランティアについて】 姿を見せるだけでも犯罪がしにくい効果(自然監視)があり防犯になる。 またおはよう、こんにちは等の声掛けをすることにより、見守ってくれている人たちがいるという認識が出来上がり、子供達の安心にもつながる。
研修の感想や気付いたこと、等	見守りとして道路に立つだけで防犯につながることや、子供の送り迎えをするだけで、自分の子供だけではなく、お友達の安全にもつながっていることを知りました。 講師の武田さんの『子供の送迎は過保護ではない。立派な市民防犯であり、防犯ボランティアにもなる』という話が心に響きました。 また防犯と言われると、危険が伴うような気がしていましたが、直接的防犯と間接的防犯の違いを知り、誰にでも出来る簡単なことで防犯になることを学びました。 こういうおじさんが怪しいという具体的な表現は差別を生むことにもつながるし、実際の犯罪者は老若男女おり、一見ふつうの人を装っていることもあります。講師の武田さんはそういった差別が起こらないような話し方をしてくださる方で、物事の見方も良い悪いだけで判断するような話し方をしない方で、とてもよい印象を受けました。 子供はたくさんのことをぐんぐん吸収します。そのため、こういった点に気を付けて話してくださる武田さんの話を子供にもぜひ聞いてほしいと思いました。